

—V・ファーレン長崎のマスコット「ヴィヴィくん」も豆撒きに参加—
 節分祭・平成27年2月3日
 阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

報社 あそみや

平成27年3月10日

第62号

発行所

阿蘇神社社務所
 多良見町化屋862
 ☎ 0957-43-5235

神社検定

阿蘇神社

宮司 大島 大明

平成二十四年に始まった「神社検定」が今年も六月二十一日に開催されます。今年が第四回の検定で、試験会場は全国四十九ヶ所で行われます。第一回の神社検定が、全国二十五会場(長崎市でも開催)であったことを思うと、受験希望者が全国的に増しているのではと思われまます。

趣味の検定やご当地検定が全国的ブームとなったのは一〇年前の話。しかし今ではその多くが

消滅したような感じがします。私たちが日常生活の中で体験する慣習め風習の中には、神社や神道と関わりが認められるものが多く存在します。近年「パワースポット」がブームとなり、神社仏閣への参詣が全国的に増加しています。が、神社や神道の知識が深まれば、日本の文化も今以上に感じることができると思います。神社検定にチャレンジしては如何でしょうか。詳細は社務所までお尋ね下さい。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

恒例 節分祭恙なく終了!!

去る二月三日に恒例の阿蘇神社節分祭が斎行されました。当日は天候にも恵まれ、一年間の福を求める参拝者で、境内は大いに賑わいました。

午後五時、殿内で氏子崇敬者の一年間の開運招福を祈る「節分祭」が斎行されました。官司の祝詞奏上に続き、神社総代及び氏子崇敬者の代表が玉串を捧げて拝礼を行いました。

引き続き本殿前の臨時斎場では旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手など神社に縁ある品々を焚き



-火焼神事-



-火焼神事-

上げる火焼神事(ほやしんじ)が行われ、祭典終了後に総代の手によって火が着けられました。

豆撒き行事には、未(ヒトジ)歳生れの年男・年女が三回に分かれて境内の特設舞台から豆撒きを行いました。今年は二十六名が参加しました。袴を着け神前で祓いを受け、境内に設けられた舞台から豆撒きを行いました。

舞台での司会は多良見町のアイドル、ミカンさんがつとめ、二回目の豆撒きには、V・ファールン長崎のマスコット「ヴィヴィくん」が



-年男・年女による豆まき-

節分祭の諸行事を行うに当たり、準備から後片づけまで総代会・商工会関係者にはご苦労をお掛けいたしました。また福豆の景品を提供や、運営のための協賛金など多くの商店・商社のご協力をいただきました。

ご芳名を記し御礼を申し上げます。有り難うございました。

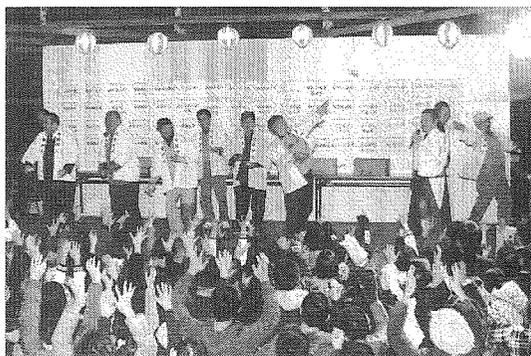
◆節分祭への奉納◆

- ・福豆 白岩豆店殿
- ・初穂料 八江利春殿
- ・献酒 十八銀行多良見町支店支店長 矢野祐介殿

登場、年男・年女と一緒に豆撒きを行いました。司会のミカンさんとの一発芸勝負も会場を楽しませてくれました。「ヴィヴィくん」の福運が今年のV・ファールン長崎の勝利につながるものと思います。

境内には多良見町商工会の青年部、女性部などの出店が並び節分祭は賑わいました。

三回目の豆撒き終了後、法被姿の神社総代が舞台上がり、餅撒きを行いました。まず総代会長が謝辞を述べ、その後総代全員で一年間の開運招福を願った餅を撒きました。餅は紅白の小餅を袋に入れたもので、一年間の福を込めるため、三六五袋が撒かれました。



-総代会の餅まき-

◇豆撒行事景品提供(敬称略)

(有)三伸電機、V・ファアレン長崎、
 (有)もろおか薬品、グリーングラス、
 レッカーセンター三根、(株)マツヤ
 おむすびころりん、ローズマリー
 薬局、(有)モールアム、たちばな信
 用金庫、蔵運工房、おしやれの店
 花椿、自然食品の店めぐみ、(株)十
 八銀行、山中板金、(有)十善商店、
 森田薬局、R&R、ガンバル市場
 まつもと君、阿蘇神社総代会、フ
 ラワーショップ花華、阿蘇神社、
 (株)加藤産業 長崎支店、エースコ
 ック(株)、サンポー食品(株)、京都・
 木村装束店、マツシヨウ、お菓子
 のあづま屋、長崎産機サービス、
 蓮創アルミ、(株)ナカムラ、事務機
 のミヤジマ、(有)徳永自動車、いち
 ごや、遊膳ききつ、おそうじ本舗
 (有)南部建設工業、(株)長崎スクラッ
 プセンター、(株)清紀運輸、(株)丸西
 自動車、(株)マツシマ、九州ガス(株)
 井手陶器、大草自動車整備工場、
 (株)タナカ自動車、(株)溝上建築、(有)
 森商会、(有)丸創建材店、(株)たらみ
 葬儀社、多良見住宅、高屋設備、
 はんセンター尚美堂、みのる塾、
 (有)菅原産業、写真室やまさき、(有)
 みづほ、ヘヤーサロン髪遊、スー
 パーあづま屋、(株)カステラ本家福
 砂屋多良見工場、レストラン松新、

ピザクルサ、(有)クラウンドライ
 (株)親和銀行、(有)喜々津新聞販売セ
 ンター 以上

◇節分祭特別協賛金奉納(敬称略)

関山祥一(長崎市)、慈恵病院、黒
 木建設(株)、(株)石橋工業、喜々津カ
 ントリー倶楽部、(株)カステラ本家
 福砂屋多良見工場、(株)ききつ青果
 (株)森開発、(株)森住宅、スナックア
 ロン、(有)多良見碎石、(有)南部建設
 工業、ヤマエ久野(株)長崎支店、(株)
 唐草、中村医院、大石ボデー、
 (有)徳永自動車、西部ガスエネルギー
 (株)長崎支店、(株)アサヒ、(有)後田
 塗料商事、松尾装業、アルファ印
 刷、アポロカーズ、(有)森商会、(有)
 やまぐち住建、(株)溝上建築、共榮
 機械工事(株)九州支店、総合アルミ、
 (株)長崎ニチボ、(株)吉川金属商事
 竹迫整形外科、松屋眼科医院、た
 か動物病院、(有)喜々津新聞販売セ
 ンター、多良見住宅、(株)小島工作
 所、(有)あづま屋、(有)菅原産業、
 (有)もろおか薬品、山崎活魚店、や
 の皮ふ科、犬尾胃腸科外科医院、
 山口歯科医院、喜々津美容室、(株)
 雄苑、ますだ小児科内科医院、
 大久保クリニック、徳永建設(株)、
 濱田心緑園、マエダ住宅(株)、坂口
 百樹、つくし書道教室、西原電気
 商会、(有)吉野企画建設 以上

平成二十七年
 皇紀二六七五年 紀元祭を斎行!

二月十一日に紀元祭が斎行され、
 喜々津三曲会(吉見哲山会長)会員
 五名により尺八の奉納演奏が行わ
 れました。



- 尺八の奉納演奏 -

紀元祭に以下の通り初穂料と奉
 献酒を賜りました。ご芳名を記し
 お礼を申し上げます。《敬称略》

◇初穂料◇

慈恵病院 松本卓郎・松尾祥吉、
 多良見漁協 木下和幸・喜々津三
 曲会・山口初實・北島守幸・木下
 政儀・高内龍士・岩本 勲・嶋田
 彌八郎・持永隆行・関山雅孝・徳
 永廣治・松森恒一・山田豊明・内
 野典秋・草野 敏・西平 隆・白
 石幸男・山口眞昭・松崎章雄・前
 田信太郎・吉野 徹・大久保治賢・
 小川虎彦・松尾清人・前川 功・
 浦嶋政美 以上

◇献 酒◇

十八銀行多良見町支店支店長 矢
 野祐介、たちばな信用金庫多良見
 支店 支店長 水口潤二 以上

境内トイレの改修工事

阿蘇神社御鎮座四八〇年に当た
 り、これを記念して改修(水洗化)
 工事が行われました。浄財を賜つ
 た有志の皆様方のご芳名を記し御
 礼を申し上げます。

◇境内トイレ改修工事協賛者

- ・ (株)森 開発 森 強 殿
- ・ (株)溝上建築 溝上元治 殿
- ・ (有)多良見碎石 石場一広 殿
- ・ (株)雄 苑 松山敏雄 殿
- ・ 多良見住宅 北島守幸 殿
- ・ 総代会会長 前田信太郎 殿
- ・ 副会長 吉野 徹 殿
- ・ 松尾清人 殿
- ・ 大久保治賢 殿
- ・ 小川虎彦 殿
- ・ 前川 功 殿
- ・ 浦島政美 殿

平成二十七年「歌会始」御題「本」
御製

夕やみのせまる田に入り稔りたる
稲の根本に鎌をあてがふ

皇后陛下御歌

来し方に本とふ文の林ありて

その下陰に幾度いこひし

新春恒例の「歌会始」の御儀が

一月十四日午前皇居・正殿「松の間」でおこなわれました。今年是国内外から二〇、八六一首の詠進歌が寄せられたそうです。

宮中の新年行事の最後を締めくくる「歌会始」に一般の詠進が認められたのは明治七年、特に優れたものを選歌として披講されるようになったのが明治十二年、現在のような「歌会始」の形に定着したのは、昭和三年からといわれます。皇室と国民を繋ぐ「歌会始」に参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項(抜粋)

一、お題「人」

お題は「人(ひと)」ですが、「人材」「若人」のように熟語にしても差し支えありません。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で

一人一首、未発表のもの。

②半紙(習字用半紙)を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(ふりがな)、生年月日及び職業(具体的に)を縦書きで明記。

三、注意事項

次の場合は失格となります。

- ①お題を詠み込んでいない、短歌の定型でない、用紙が縦長の場合。
- ②一人で二首以上詠進した場合、毛筆でない場合。
- ③すでにに発表された短歌と同一、または著しく類似する場合。

④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。

四、郵便のあて先

「〒一〇〇〇一八一一 宮内庁」

宛とし、封筒に「詠進歌」と書き、詠進歌は小さく折って封入する。九月三十日の消印まで有効。

◆総代会の事業報告◆

平成二十六年度の総代会の事業(活動)の内、主要な事項を抜粋して報告します。

平成二十六年 四月七日

・監査会 二十五年度の会計監査

四月十五日

・総代会 予決算書の審議、その他評議員会資料について審議

五月十五、十六日

・枝打ち作業を実施

全総代が参加して、御本殿屋根にかかる枝打ち他を行う

五月二十六日

・社務所の白蟻予防消毒を実施

消毒施工は業者に依頼、保証期間は五年間

五月三十日

・定例評議員会開催

①予決算書他の審議

②今年度の監事選任

③相撲大会の収支報告 など

六月二十六日

・田祈禱祭参列

七月十八日

・総代会西彼支部総会併せて研修会(西彼町)

九月三、四日

・総代会中央研修会(佐世保)

長崎県神社庁が主催する総代の

研修会で、例年交代で参加

十月十五日

・例祭(喜々津くんち)参列

御鎮座四八〇年の慶賀すべき年に当たり、式年大祭として祭典を斎行。神社本庁よりの献幣使が参向し幣帛を供え祭詞を奏上

十二月七日

・注連縄作り。評議員、元総代など十七名が参加

十二月二十三日

・門松用の竹切り、正月用のテント設置、看板の設置作業

十二月二十九日

・門松を作成し設置。鳥居への竹椎の木の取り付け作業

平成二十七年 一月一日

・御神酒(樽酒)の鏡割り、庭燎の火の管理、初詣参拝客へ御神酒を振る舞う。(午前二時まで)

一月七日

・正月の飾り(門松他)の撤収、節分祭用のテント設置など

二月三日

・節分祭に参列、火焼神事を管理

午後二時に集合し、節分祭諸行事の終了(午後九時)まで従事、その後片付けをして解散

その他必要に応じ総代会を開催している。